



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2024-2025年度 鯖江ロータリークラブ

2024-25年度 国際ロータリーテーマ

2024-25年度 第2650地区スローガン



持続可能なロータリーに! 共に学び、共に行動



鯖江ロータリークラブ会長方針
『奉仕と親睦
そして財団』
(楽しくポジティブにゴー)
会長 幸道 森市

第3123回
11/1(金)

第3124回
11/8(金)

第3125回
11/15(金)

11月第1例会

点鐘:12:35

11月第2例会

点鐘:12:35

11月第3例会

点鐘:12:35

テーマ「河和田地区の光と影について」
河和田公民館長
卓話 青山 英彦 様

テーマ「地域公共交通
維持活性化の取組み」
福井鉄道株式会社代表取締役社長
卓話 吉川 幸文 様

代田 純子 様
(フルート四重奏)

11/1(金)

第3123回

4つのテスト

出席率54.3%

鯖江商工会議所 4F大会議室

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

のながら運転・酒気帯び運転の罰則が強化されました。気を付けましょう。

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ ー タ リ ー ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング

奉仕の理想
佐野 直美
ソングリーダー

会長の時間

幸道 森市 会長
本日は、誕生祝を
ありがとうございます。
今日(11/1)
が誕生日当日です。

今までで当日に当たったのは4回目でしょうか、78歳になりました。生まれは鯖江町で家を出た事はなく、鯖江生まれの鯖江育ちです。

紅葉の時期になりました。県内では九頭竜湖・西山公園・養浩館庭園・永平寺・越前陶芸村公園・刈込池・大原山西福寺・満徳寺・一乗谷朝倉遺跡等が紹介されました。京都辺りへ行きたいものです。
今日から道路交通法が変わり、自転車

幹事報告と委員会報告

幹事報告 梅田 吉臣 幹事

国際RCより2023-24年度の財団寄付協力に対してバナーが送られてきました。前回で行う予定でした委員会報告をお願いします。

岩尾 顕治 親睦委員長

10月25日の「創立記念夜間例会」には、たくさんの方にお集まりいただき盛り上がりまして、ありがとうございました。会員26名とゲスト3名の29名で行い、5年間を振り返るビデオが上映されまして、ミニ周年事業が無事終了して良かったなと思いました。11月16日(土)「クラブ親睦旅行」について、多数の参加申し込みを受付中です。ご応募をお待ちしています。

笹尾 昌敬 青少年奉仕委員長

(特非)エコプラザさばえより、チラシの通り11月10日(日)16時~17時半鯖江市嚮陽会館に於いて、設立20周年記念「谷口たかひさ氏の『気候危機の実態と地球と仲良くする生き方』と題した講演への参加依頼がありました。参加方法ですが、QRコードを読み取ってお申し込みください。もし、アナログで出来ないと言わ

れる方は、帰山さんが受付をしていますので、「参加する」とお伝えいただけましたら、参加登録になりますのでよろしくをお願いします。また、その後の式典に於いて、鯖江ロータリークラブが表彰されるらしいと聞いています。幸道会長が登壇されると思いますので、講演の後は式典までお残りいただき、表彰を見守っていただけたらとご案内申し上げます。

結婚祝い



大島 恒彦 会員
藤井 智正 会員
小林 和宏 会員

誕生祝い



幸道 森市 会員
馬場 一彦 会員
瀧ヶ花秀彦 会員
藤井 智正 会員

勤続表彰



馬場 一彦 会員
岩尾 顕治 会員
西尾 俊一 会員

卓話 河和田公民館長 青山 英彦 様

テーマ 「河和田地区の光と影について」



卓話者紹介 清水 康弘 プログラム副委員長

今日の卓話者は、私と同級生の青山英彦さんです。市役所定年後、河和田の区長会長や観光協会の専務をされていたのでご存じの方もおられると思います。今日は「河和田地区の光と影について」の卓話をいただきます。どうぞよろしく お願いします。



卓話者:青山 英彦様

テーマ:「河和田地区の光と影について」

只今ご紹介いただきました河和田公民館の青山です。私が観光協会の専務時代に、「鯖江の観光について」お話しさせていただいた事があります。本日は、「河和田地区の光と影について」お話しさせていただきます。

プロフィールは、「河和田公民館長」と「河和田コミュニティーセンター館長」の兼務辞令を受けています。また、「NPO法人かわだ夢グリーン理事長」、高齢者の助け合いを進める「うるしの里結プロジェクトの統括責任者」、後は、「うらら農縁園倶楽部」とか「ラポーゼ農園クラブ」といって職人さんや地域の仲間と一緒に遊休農地を使った畑作もやっています。市役所に長年勤め、観光協会の専務もしていました。

2005年に「第1回河和田アートキャンプ」を始めるとき、準備から開催までお手伝いしました。また、市役所時代は「吉川ナスの復興」に携わり、最後の農家に残っていた種をもらった農家グループが生産量を増やすお手伝いをさせていただきました。当時の満田副知事さんの紹介で、「料理の鉄人」番組へ出ていた岸朝子さんが関係している東京の「八百屋塾」という会合に吉川ナスを持っていきました。お陰で有名になり、いよいよメジャーデビューという時にナスの中に気泡が入り、大田市場の仲卸さんに謝りに行った苦い経験もありました。

河和田は漆器が日本一の産地で、鯖江のメガネの始まりは、青山氏と増永氏の従兄弟で始祖鯖江の一番東にあるコミュニティです。また、鯖江市に合併したのは河和田が一番遅く、当時は村を2分する騒動も起きたそうです。地図で見ると「鯛」の形に似ているということで、小学生の名札が鯛の形で漆を塗って、名前を彫っています。後は、「オンドリ」や「ホタル」等の自然が豊かです。

食に関しては、漆の器と御膳を使った伝承料理もありますし、「やまうに:柚子と唐辛子を練った調味料」も脚光を浴びています。

漆掻きの歴史もありまして、江戸時代の末期から昭和の初めごろまで全国に漆掻きに出っていました。全国の漆掻きの内、7~8割が越前出身、その7割~8割が河和田村とお隣の服間村だったそうです。漆を掻く刃物は「越前打刃物」で、全国に打刃物を広める役割もしました。また、漆器にプラスチックを導入したのも河和田からで、業務用漆器が日本一になりました。が、現在の漆器業界の現状は大変厳しいものになっているようです。

今から20年前に、「福井豪雨災害」があり、河和田は濁流に包まれ甚大な被害が出ました。その後に災害ごみが大量に出て、西番のごみ焼却場に持って行くことと往復4時間くらいかかるし、大渋滞になりました。そこで、小学校の校庭を使うこととなり、積み上げたごみが校舎より高く積まれ、熱を持ちプロパンガスが爆発するという現象にも遭遇しました。

全国から多くのボランティアさんが入られて、復興が早まりました。7月18日に水害があり、20日から17日間の合計で1万300人くらいのボランティアさんが全国か

ら来ていただきました。当時私は「エコネットさばえ」を市民グループと一緒に建てる話がありまして、京都の「京エコロジーセンター」へ行ったところ、「京都大学ゴミ部」を創った 浅利さんの話(京都で科学と芸術に携わる「ニューレターフロム京都の事務局長」)を聞きましたので、小学校に積まれた災害ごみの写真を送ったところ非常に興味を持っていただき、京都大学、京都精華大学、立命館大学、同志社大学、京都市立芸大等の学生を20名ほど引き連れて河和田に来ていただきました。そこらが交流の始まりです。当時の 浅利さんは女学生でしたが、今は京大関係研究所の教授で、本当に長い付き合いです。

その学生達の中から、水害防止のため「てるてる坊主」を水害の時に水がついた高さに合わせて吊るしライトアップしてはどうでしょうか?という案が出ました。そこで、学生には京都で作ってもらい、「うるしの里会館」に来た お客さんにも作ってもらうなどして、水害のあった翌年にみんなの「てるてる坊主」を集めて吊るしました。そこから福井大学の学生と京都の大学生を合わせた「アートキャンプ」が始まりました。以後20年間「アートキャンプ」が続いています。学生の夏休みに合わせて空き家に(多い時は100人くらい)泊まり、芸術活動等を行っています。何年かして古民家の横にある蔵を学生が改造し、地域住民と交流したいと「蔵バー」を始めました。そこで盛り上がり「職人さんと学生さんとのファッションショー」等、毎年学生が変わる度に、「蔵バー」から新しい発想が出てきました。学生と一緒に神輿を担いだり、盆踊りを踊ってもらったり、「地酒造りプロジェクト」で酒米を植えて刈取り、「加藤吉平商店」で「おしどり」という地酒を造り、ラベルは学生がデザインしたりして販売しています。今年、知事夫婦を招いて「ベストおしどり賞」として表彰させて欲しいと県に伝えたら、知事訪問が叶いました。また、地酒「おしどり」のお披露目会では、駒本氏作の「おちょこ」に「おしどり」を入れて招待客に飲んで頂いたり、知事夫妻にも来ていただきました。

早稲田大学学生NPO「環境ロドリゲス」の中の環境教育グループ「エコスマイル」の学生等とも毎年交流を続けています。今日からリニューが始まりましたが始めたのはアートキャンプのOG/OBたちです。是非ご覧いただけたらと思っています。漆器だけでなく、色んな地場産業や会社が携わっています。皆様、機会がありましたらどうぞお越しください。

県立大学との付き合いも始まっています。1年生の学部学科を横断した「導入ゼミ」で、自分が県立大学でお話した後、河和田に来ていただきました。「ラポーゼ農園」について、「貸農園が草ぼうぼう状態で、何か活用できないか」という事で、ご提案をいただいています。「新しい種類の作物研究」「作物の差別化を図る」「ラポーゼ農園を観光農園にする」等、ヒントにさせていただきたいです。

かっこいい所ばかり話しましたが、少子高齢化・空き家空き農地・漆器産業の生き残り・伝統行事継続・高齢者や学生の移動手段が、大きな課題です。特に空き家の中には価値のあるものもあります。過疎化が進んでいますが、関係人口や交流人口を増やしていこうと思っています。それと、使える面積が増えている事を踏まえ、プラスに捉えられる人と組んで何かをしたいと思えます。温泉、漆器、古民家、庭園、農園等を活用して行こうと思えます。また、「銀座ミツバチプロジェクト」と組んで、「イモ焼酎」造りにも参画中です。これからも河和田の資源を活用した活動をしていきます。

ここにBOX報告

幸道 森市 会員 誕生日をいただきましてありがとうございます。

梅田 吉臣 会員 青山様の卓話楽しみです。

大鳥 恒彦 会員 結婚のお祝いを頂いて有難うございます。

齋藤 多久馬 会員 青山様の卓話に期待して。

岩尾 顕治 会員 16日は親睦旅行に参加してロータリーを楽しみましょう。また勤続祝いを頂いて。

窪田 健一 会員 青山様の卓話に期待して。

清水 康弘 会員 青山様の卓話を楽しみに。

増永 英彦 会員 青山様の卓話を楽しみに。

野中 敏昭 会員 青山様の卓話を楽しみに。

佐野 直美 会員 明後日3日当店があります商店街で毎年恒例の「人形供養」があります。人形の断捨離にお悩みの方どうぞ。

野呂 和夫 会員 青山様の卓話に期待して。



ニコニコ報告
野呂 和夫
ニコニコ委員長